

国 営 積 第 3 号
平成30年4月23日

大臣官房官庁営繕部計画課営繕積算企画調整室長 殿
大臣官房官庁営繕部整備課特別整備室長 殿
各地方整備局 営繕部長 殿
北海道開発局 営繕部長 殿
内閣府沖縄総合事務局 開発建設部長 殿

国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課
営繕積算企画調整室長
(公 印 省 略)

営繕工事における入札時積算数量書活用方式運用マニュアルについて

「営繕工事における入札時積算数量書活用方式運用マニュアルについて」（国営積第8号）において入札時積算数量書活用方式の実施に関し、発注者及び受注者間における積算数量の確認方法、協議等について円滑な運用がなされるよう運用マニュアルを提示しているところであるが、今般、公共建築工事内訳書標準書式の改訂に伴い、下記のとおり一部見直しを行ったので、適切に対応されたい。なお、マニュアル全体を別添のとおり送付する。

また、入札時積算数量書活用方式の取組について、地方公共団体等に対して、各種会議等を通じて情報提供を行い、周知されたい。

記

- 別添「営繕工事における入札時積算数量書活用方式運用マニュアル」のうち
- ・別添－3 数量公開項目一覧（建築工事）
 - ・別添－4 数量公開項目一覧（電気設備工事）
 - ・別添－5 数量公開項目一覧（機械設備工事）

別添

営繕工事における
入札時積算数量書活用方式運用マニュアル

平成29年10月

(平成30年4月改定)

国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課

はじめに

営繕工事における入札時積算数量書活用方式運用マニュアル(以下「本運用マニュアル」という。)は、国土交通省発注の営繕工事における入札時積算数量書活用方式の実施に関し、発注者及び受注者間における積算数量の確認方法、協議等について円滑な運用がなされるよう手引として整理したものである。

引用通達等

- ・営繕工事における入札時積算数量書活用方式の実施について(平成 29 年3月 14 日付け国地契第 80 号、国営管第 432 号、国営積第 23 号、国北予第 36 号)

本運用マニュアルにおいて、下記の二重線による箱書きに本文を引用している。

--

- ・営繕工事における入札時積算数量書活用方式の実施に係る運用について(平成 29 年3月 14 日付け国営積第 25 号)

本運用マニュアルにおいて、下記の実線による箱書きに本文を引用している。

--

1. 目的

1. 目的

入札時積算数量書活用方式は、営繕工事の請負契約締結後における積算数量に関する協議の円滑化に資するため、入札時において発注者が入札時積算数量書を示し、入札参加者が入札時積算数量書に記載された積算数量を活用して入札に参加することを通じ、工事請負契約の締結後において、当該積算数量に疑義が生じた場合に、入札時積算数量書に基づき、積算数量に関する協議を行うこととする方式である。

本方式の実施の目的は、大きく以下の3点が挙げられる。

- ・契約後に発注者の積算数量に疑義があった場合の受発注者間における協議を円滑に行うことができる。
- ・協議の結果、必要に応じて数量変更を行うことで、適正な請負代金額となり、契約の適正化に資するとともに営繕工事の品質確保につながる。
- ・発注者の積算数量に関して、発注者が受注者からの協議に応じることを明確にすることで、入札参加者による発注者積算数量の活用が促進され、入札参加者の積算の一層の効率化に寄与する。

2. 用語の定義

2. 用語の定義

- (1) この要領において「数量基準」とは、公共建築工事積算基準(平成 15 年3月 31 日付け国営計第 196 号)第5(3)に定める「公共建築数量積算基準」及び「公共建築設備数量積算基準」をいう。
- (2) この要領において「積算数量」とは、工事費を算出するために必要となる数量について、数量基準に基づき発注者が算出した数量をいう。
- (3) この要領において「入札時積算数量書」とは、発注者が入札時において積算数量として、公共建築工事積算基準第4に定める「公共建築工事内訳書標準書式」に基づき作成した種目別内訳、科目別内訳、中科目別内訳及び細目別内訳の名称、数量及び単位を取りまとめて示す書面(電磁的記録に記録されたものを含む。)をいう。
- (4) この要領において「工事費内訳書」とは、「工事費内訳書の提出について」(平成 27 年3月6 日付け国地契第 84 号、国官技第 279 号、国営計第 107 号)又は「工事費内訳書の提出について」(平成 27 年3月6日付け国営管第 560 号、国営計第 114 号)に基づき、第 1 回の入札において入札参加者から提出される工事費内訳書をいう。

「公共建築数量積算基準」及び「公共建築設備数量積算基準」は、予定価格のもととなる工事費の算定の基本となる数量に関し、その計測、計算、区分の方法を規定したものである。

なお、「入札時積算数量書別紙明細」の定義は、「8. 入札時積算数量書別紙明細の公開」の「(1)入札時積算数量書別紙明細について」による。

3. 対象工事

3. 対象工事

競争入札に付する全ての営繕工事に適用する。

本方式は、一般競争入札、工事希望型競争入札及び指名競争入札に付する営繕工事に適用する。なお、随意契約及び設計・施工一括発注方式のような設計を含む事業は適用外とする。

4. 対象工事である旨の明示等

4. 対象工事である旨の明示等

- (1) 本方式の対象工事である旨の明示は、次に掲げる契約方式ごとに、それぞれ次に掲げる

書面(以下「入札説明書等」という。)への記載(電磁的記録を含む。)により行うものとする。

①一般競争入札の場合:入札公告及び入札説明書

②工事希望型競争入札の場合:送付資料

③②以外の指名競争入札の場合:指名通知書

(2)(1)の記載は、別記1の記載例によるものとする。

(別記1)入札説明書等における記載例

(別記1)入札説明書等における記載例

○. 入札時積算数量書活用方式の適用

① 本工事は、入札時積算数量書活用方式の対象工事である。本方式では、入札時において発注者が入札時積算数量書を示し、入札参加者が入札時積算数量書に記載された積算数量を活用して入札に参加することを通じ、工事請負契約の締結後において、当該積算数量に疑義が生じた場合に、発注者及び受注者は、入札時積算数量書に基づき、積算数量に関する協議を行うことができる。

なお、入札時積算数量書に記載された積算数量については、当該積算数量に基づく工事費内訳書の提出や契約締結後における工事の施工を求めるものではない。

② 受注者は、入札時積算数量書に記載された積算数量に疑義が生じた場合は、直ちに協議を求めるものとする。ただし、当該疑義に係る積算数量の部分の工事が完了した場合、協議を求められないものとする。

③ 受注者からの請求による①の協議は、入札時積算数量書における当該疑義に係る積算数量と、これに対応する工事費内訳書における当該数量とが同一であると確認できた場合にのみ行うことができるものとする。

④ ①の協議(発注者が請求する場合も含む。)は、入札時積算数量書に基づき行うものとする。ただし、入札時積算数量書の細目別内訳において数量を一式としている細目(設計図書において施工条件が明示された項目を除く。)を除く。

⑤ ①の協議の結果、入札時積算数量書に記載された積算数量に訂正が必要となった場合は、契約書、設計図書及び数量基準に定めるところによるものとする。

競争入札に付する営繕工事について、入札説明書等で入札時積算数量書活用方式の対象工事であることを明示する。

5. 入札時積算数量書活用方式の実施手続

5. 入札時積算数量書活用方式の実施手続

(1) 入札時積算数量書の取扱い

入札時積算数量書は、入札説明書等の添付資料として、交付し公開するものとする。

入札時積算数量書に記載された積算数量については、入札時積算数量書に基づく工事費内訳書の作成や契約締結後における工事の施工を義務付けるものではないが、積算数量に疑義が生じた場合における発注者と受注者との協議は、入札時積算数量書に基づき行うものとする。

入札時積算数量書は、入札説明書等の添付資料であって、設計図書ではないことから、入札時積算数量書にある数量どおりの施工(履行)を求めるための「契約数量」にはならない。よって、入札時積算数量書にある数量の施工確認・検査は行わない。

また、入札参加者に入札時積算数量書の活用を義務づけるものではないため、入札参加者が入札時積算数量書の積算数量と異なる数量を用いた工事費内訳書を提出したとしても、その入札を無効とすることはない。

(2) 入札時積算数量書に対する質問及び回答

入札参加者は、入札時積算数量書に記載された内容について質問することができる。この場合における質問及び回答は、入札説明書等に対する質問として行うものとする。なお、受注者は、当該質問の有無にかかわらず、契約締結後に積算数量に疑義が生じた場合には、積算数量に関する協議を求めることができることに留意するものとする。

(別記1) 入札説明書等における記載例

(別記1) 入札説明書等における記載例

- . 入札説明書【工事希望型競争入札については「送付資料」、工事希望型競争入札以外の指名競争入札については「指名通知」と読み替える。以下同じ。】に対する質問
 - この入札説明書(入札時積算数量書を含む。)に対する質問がある場合においては、次に掲げるところに従い、書面(様式は自由)により提出するものとする。
- . 工事費内訳書の提出
 - (1) 第1回の入札に際し、第1回の入札書に記載される入札金額に対応した工事費内訳書の提出を求める。なお、郵便による入札の場合は、当該工事費内訳書を表封筒と入札書を入れた中封筒の間に入れて郵送するものとする。

- (2) 工事費内訳書の様式は自由であるが、記載内容は、少なくとも入札時積算数量書に掲げる種目別内訳、科目別内訳、中科目別内訳及び細目別内訳に相当する項目に対応するものの数量、単位、単価及び金額を表示したもの(ただし、商号又は名称、住所及び工事名を記載すること。)でなければならない。
- (3) 工事費内訳書は、○. ③の確認において用いる場合を除き、入札及び契約上の権利義務を生じるものではない。

入札参加者は、入札手続き時に入札時積算数量書及び入札時積算数量書別紙明細に疑義が生じた場合には、質問受付期間中に質問することができる。発注者は、入札参加者から質問を受け付けた場合、確認の上、必要に応じて積算数量を訂正し、訂正後の積算数量を公開する。

なお、入札時積算数量書及び入札時積算数量書別紙明細の位置づけは下表となるため、その質問回答書も設計図書ではないことに留意するとともに、質問回答書も区別して作成するものとする。

	工事請負契約書第1条※ における設計図書	工事請負契約書第18条 の2における契約事項
「入札時積算数量書」及び「質問回答書(入札時積算数量書に関するもの)」	該当しない	該当する
「入札時積算数量別紙明細」及び「質問回答書(入札時積算数量別紙明細に関するもの)」	該当しない	該当しない

※発注者及び受注者は、この契約書(頭書を含む。以下同じ。)に基づき、設計図書(別冊の図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書をいう。以下同じ。)に従い、日本国の法令を遵守し、この契約(この契約書及び設計図書を内容とする工事の請負契約をいう。以下同じ。)を履行しなければならない。

(5) 積算数量に関する協議

- ① 受注者は、入札時積算数量書に記載された積算数量に疑義が生じた場合は、直ちに協議を求めるものとする。ただし、当該疑義に係る積算数量の部分の工事が完了した場合、協議を求められないものとする。
- ② 受注者からの請求による①の協議は、入札時積算数量書における当該疑義に係る積算数量と、これに対応する工事費内訳書における当該数量とが同一であると確認できた場合にのみ行うことができるものとする。

- ③ 入札時積算数量書に記載された積算数量に関する協議(発注者が請求する場合を含む。)は、入札時積算数量書に基づき行うものとする。ただし、入札時積算数量書の細目別内訳において数量を一式としている細目(設計図書において施工条件が明示された項目を除く。)を除くものとする。
- ④ ③の協議の結果、入札時積算数量書に記載された積算数量に訂正が必要となった場合は、契約書、設計図書及び数量基準に定めるところによるものとする。

受注者が積算数量に疑義が生じた場合の確認の請求は、協議を行う積算数量の部分に関する施工が終了するまでに行う。なお、受注者は、施工に先立ち、施工計画書の作成や材料調達のための発注の際に数量を算出・確認すると思われ、この段階で疑義数量の有無が判明すると考えられるので、受注者に対して早めの確認の請求を行うように呼びかけることも必要である。

協議を求めるとあって、契約書第18条の2第1項に基づく受注者からの確認の請求においては、当該積算数量に対して疑義を生じるに至った根拠資料を提出してもらう。

また、全ての数量が一致している必要はなく、当該疑義数量に関して数量が一致していれば、協議が可能とする。

別添-1及び別添-2のフロー及び様式例を参考に協議を行う。

6. 対象工事の契約書

4. 対象工事である旨の明示等

(3) 本方式を適用する工事においては、契約締結後において、入札時に発注者が示した積算数量に疑義が生じたときは、入札時積算数量書に基づき、積算数量に関する協議を行うこととなることを合意する。このため、契約書(「工事請負契約書の制定について」(平成7年6月30日付け建設省厚契発第25号)又は「官庁営繕部所掌の工事に係る工事請負契約書の制定について」(平成7年9月5日付け建設省営管発第556号)の別冊をいう。)に別記2に掲げる事項を記載するものとする。

なお、積算数量に関する協議の結果、請負代金額を変更するときは、契約書第24条に定めるところによるものとする。

(別記2)契約書における記載例

(別記2)契約書における記載例

(入札時積算数量書に疑義が生じた場合における確認の請求等)

第18条の2 受注者は、入札時に発注者が示した入札時積算数量書(一式とされた細目(設計図

書において施工条件が明示された項目を除く。)を除く。以下単に「入札時積算数量書」という。)に記載された積算数量に疑義が生じたときは、その旨を直ちに監督職員に通知し、その確認を請求することができる。ただし、当該疑義に係る積算数量の部分の工事が完了した場合、確認を求めることができないものとする。

- 2 前項の請求は、入札時積算数量書における当該疑義に係る積算数量と、これに対応する受注者が入札時に提出した工事費内訳書における当該数量とが同一であると確認できた場合のみ行うことができるものとする。
- 3 監督職員は、第1項の請求を受けたとき又は自ら入札時積算数量書に記載された積算数量に誤謬又は脱漏を発見したときは、直ちに確認を行わなければならない。
- 4 前項の確認の結果、入札時積算数量書の訂正の必要があると認められるときは、発注者は、受注者と協議して、これを行わなければならない。
- 5 前項の訂正が行われた場合において、発注者は、請負代金額の変更の必要があると認められるときは、第24条に定めるところにより、当該変更を行うものとする。この場合における第24条第1項本文の規定による協議は、訂正された入札時積算数量書に記載された積算数量に基づき行うものとする。

入札時積算数量書の扱いについては、契約書に契約事項として、その位置付けを規定しており、入札時積算数量書の数量は、工事請負書第18条の2に基づく確認請求、協議、請負代金額の変更を行う場合の基となる。

7. 入札時積算数量書の公開項目等

- (1)各工種における数量公開項目については、別添－3～別添－5「数量公開項目一覧」の「数量公開項目」の「数量書」を標準とする。
- (2)入札時積算数量書に添付する入札時積算数量書説明書は別添－6を参考とする。

8. 入札時積算数量書別紙明細の公開等

2. 入札時積算数量書別紙明細の公開等

(1)入札時積算数量書別紙明細について

「入札時積算数量書別紙明細」とは、入札時積算数量書の細目別内訳において数量を一式としている細目のうち、必要に応じて別途作成される当該細目の根拠となる名称、数量及び単位を取りまとめて示す書面(電磁的記録に記録されたものを含む)。また、入札時積算数量書において、数量を一式としている共通仮設費、現場管理費及び一般管理費等について、必要に応じて別途作成される各費用の根拠となる名称、数量及び単位を取りまとめて示す共通仮

設費明細書、現場管理費明細書及び一般管理費等明細書を含むものとする。ただし、数量基準において数量算出の方法が規定されていないものは除くことができる。

(2) 入札時積算数量書別紙明細の公開

「入札時積算数量書別紙明細」は、全て公開するものとする。なお、原則として見積りを行うために必要な図面及び仕様書の交付に併せて公開するものとする。

(3) 入札時積算数量書別紙明細の取扱い

「入札時積算数量書別紙明細」は、入札参加者の適切かつ迅速な見積りに資するための参考資料であり、契約書第1条にいう設計図書及び18条の2にいう入札時積算数量書ではない。

(1) 「入札時積算数量書別紙明細」から除くことができるとしているものは、具体的に下記のものとする。

A) 計画数量(任意仮設。ただし、参考図等により提示された場合は公開対象となる。)

B) 計画数量(計画図等の違いにより数量が異なるもの)

C) 製造業者及び専門工事業者等により数量が異なるもの

D) 他の細目の数量により算定されるもの(スクラップ控除など)

E) 労務費の類(施工費、接続費、搬入・据付費など)

F) 他の細目の金額で算出するもの(機械設備工事のスリーブ、形鋼振れ止め支持など)

(2) 各工種における数量公開項目については、別添—3～別添—5「数量公開項目一覧」の「数量公開項目」の「別紙明細」を標準とする。

(3) 工事費内訳書の提出において、入札時積算数量書別紙明細に対応した工事費内訳書の提出は義務としていない。

(4) 入札時積算数量書別紙明細に添付する入札時積算数量書別紙明細説明書は別添—7を参考とする。

9. 入札時積算数量書の訂正に伴う工事費の積算

1. 入札時積算数量書の訂正に伴う工事費の積算

(1) 入札時積算数量書の訂正に伴う工事費の積算は、公共建築工事積算基準 第8(設計変更における工事費)の規定に準じるものとする。

(2) 入札時積算数量書の訂正に伴う工事費の積算における共通費の算定は、公共建築工事共通費積算基準(平成15年3月31日付け国営計第196号)2(7)、3(7)及び4(4)の規定に準じるものとする。

(3) 入札時積算数量書の訂正に伴う工事費の積算に用いる単価及び価格は、公共建築工事標準単価積算基準(平成19年2月15日付け国営計第145号)第1編5(設計変更時の取り扱い)の規定に準じるものとする。

- (4) 入札時積算数量書の訂正に伴う工事費の積算に用いる数量は、入札時積算数量書の訂正の対象となった積算数量及び当該積算数量に関連する項目の、訂正後の積算数量における訂正分の数量とする。

入札時積算数量書の訂正は、設計変更ではないが、その工事費の積算は、設計変更における工事費の積算と同様に行うものとする。

10. 設計変更における積算数量書の提示等

3. 設計変更における積算数量書の提示等

(1) 設計変更における積算数量書について

契約書第 18 条及び第 19 条の規定により行われる設計図書の訂正又は変更に伴う請負代金額の変更(以下「設計変更」という。)における積算数量書は、公共建築工事積算基準第4に定める「公共建築工事内訳書標準書式」に基づき作成した種目別内訳、科目別内訳、中科目別内訳及び細目別内訳の名称、数量及び単位を表示するものとして、設計変更の対象となる積算数量をとりまとめたものをいう。

(2) 設計変更における積算数量書の提示

設計変更における積算数量書を受注者に提示するものとする。

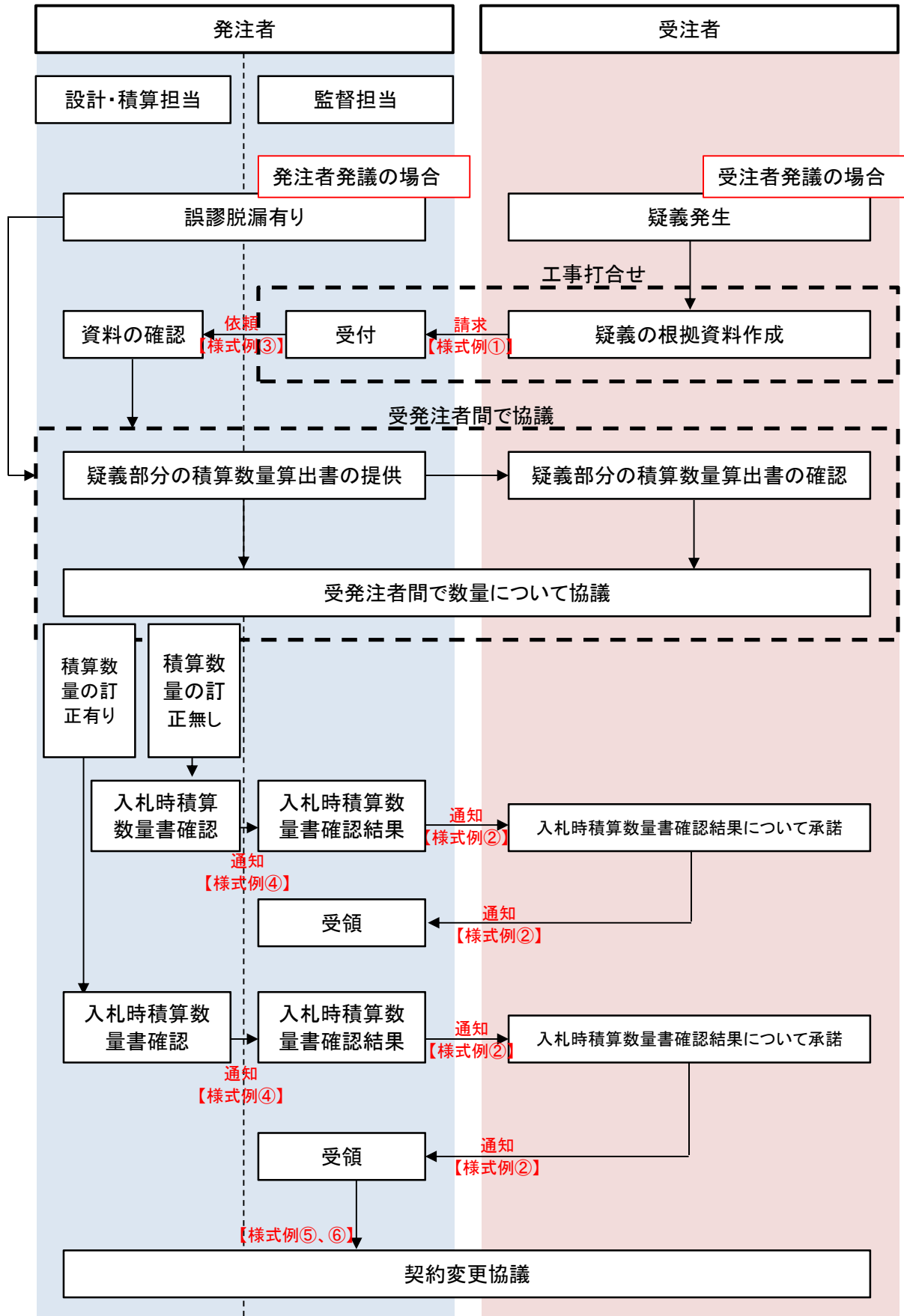
(3) 設計変更における積算数量書の取扱い

設計変更における積算数量書は、適正な設計変更に資するための参考資料であり、契約書第1条にいう設計図書及び第 18 条の2にいう入札時積算数量書ではない。

設計変更では、受発注者間において、変更内容に関連する数量においても協議を行うことになる。その際、円滑な協議のために、積算数量書を受注者に提示することを原則としている。

また、設計変更の数量についても設計図書及び数量基準に定めるところにより行うが、その積算数量書は、設計図書でも入札時積算数量書でもないことに留意し、変更契約後に疑義が生じた場合は、協議対象とならないので、設計変更時に十分に確認を行う。

入札時積算数量書活用方式に係る協議のフロー



契約書第18条の2第1項及び第3項の用紙(様式例)

様式例 ①

工事打合せ書

平成〇年〇月〇日

工事名: ○○○(16) 建築改修その他工事

主任監督員	○○○○ ㊟	監督員	□□□ ㊟	現場代理人	△△△ ㊟
打合せ者				打合せ場所	
NO	内 容	回 答		処 理 方 法	
発議者	協議日	設 計 (積 算)			備 考
		建	電	機	

※疑義に係る根拠資料は別途提出する。

平成〇年〇月〇日

〇〇建設(株)
現場代理人 殿

国土交通省〇〇〇地方整備局
〇〇〇営繕事務所
総括監督員

入札時積算数量書に対する確認結果について(通知) (案)

工事名称:〇〇〇(16)建築改修その他工事 において、
入札時積算数量書における以下の積算数量について確認をしたので通知します。

入札時積算数量書確認結果

頁	科目	中科目	細目	摘要	当初		確認数量	
					数量	単位	数量	単位

変更契約予定 第〇回

国土交通省〇〇〇地方整備局
〇〇〇営繕事務所
総括監督員 殿

承 諾 書

入札時積算数量書の確認数量に異存はありません。

平成〇年〇月〇日
〇〇建設(株)
現場代理人 印

事務所長から積算担当課長宛の用紙(様式例)

様式例 ③

平成〇年〇月〇日

〇〇〇地方整備局 営繕部
〇〇課長 殿

総括監督員
〇〇 〇〇

入札時積算数量書確認依頼通知書

下記工事について、別紙のとおり入札時積算数量書を確認依頼したいので通知する。

記

工 事 名

工 期 平成 年 月 日
 平成 年 月 日

請 負 代 金 額 000, 000千円

受 注 者 株式会社 ○●○

平成〇年〇月〇日

総 括 監 督 員
〇〇 〇〇 殿

〇〇〇地方整備局 営繕部
〇〇課長 〇〇 〇〇

入札時積算数量書確認通知書

下記工事について、確認し

[別紙のとおり入札時積算数量書を訂正したので、
入札時積算数量書の訂正が無かったので、] 通知する。

記

工 事 名

工 期 平成 年 月 日
平成 年 月 日

請 負 代 金 額 〇〇〇, 〇〇〇千円

受 注 者 株式会社 〇●〇

別紙

入札時積算数量書確認

頁	科目	中科目	細目	摘要	当初		確認数量	
					数量	単位	数量	単位

協 議 書

決 裁	契約担当課	予算担当課	積算担当課			起 案 施 行	平成 年 月 日 ○○○○課 起案者 ○○ ○○	
	契約担当	課長	課長	補佐	営繕技術専門官			
	予算担当		建築積算	電気積算	機械積算			
	設計担当課							
	課長		補佐					
	建築設計	電気設計	機械設計	主任監督員				
						平成 年 月 日		

工 事 名

工 期 平成 年 月 日
 平成 年 月 日

請 負 代 金 額 000,000千円

受 注 者 株式会社 ○●○

変 更 見 込 金 額 千円

変 更 契 約 予 定 第○回

入札時積算数量書数量訂正事項：

訂正 あり（正誤表のとおり）
 なし

（変更事項及び変更理由）	
（変更事項） 起案 平成28年11月1日	（変更理由）
4. 入札時積算数量の変更 (0.0 %) 工事請負契約書第18条の2第3項に基づく請負代金額の変更	工事請負契約書第18条の2第3項に基づく協議の結果、数量に差違が確認され、請負代金額変更の必要が生じたため。

(別添-3)

数量公開項目一覧（建築工事（新営））

※1 入札時積算数量書の数量公開項目
 ※2 入札時積算数量書別紙明細の数量公開項目

数量公開項目凡例

- 入札時積算数量書又は入札時積算数量書別紙明細での数量公開項目
- 入札時積算数量書で「1式」として数量公開し、入札時積算数量書別紙明細はつけない

名称	単位	数量公開項目		名称	単位	数量公開項目		名称	単位	数量公開項目	
		数量書※1	別紙明細※2			数量書※1	別紙明細※2			数量書※1	別紙明細※2
直接仮設				先付けタイル用型枠	m2	○		壁花こう岩張り	m2	○	
遣方	1式		○	円形打放し型枠	m	○		壁花こう岩役物	m	○	
墨出し	1式		○	型枠運搬	m2	○		壁大理石張り	m2	○	
養生	1式		○	耐震スリット	m	○		壁大理石役物	m	○	
整理清掃後片付け	1式		○	目地棒	m	○		開口部枠大理石	m.か所	○	
地足場	1式		○	スリーブ	か所	○		ライニング甲板花こう岩	m	○	
外部足場	1式		○	(外部仕上)				膳板大理石	m	○	
内部躯体足場	1式		○	打放し面補修	m2	○		開口部枠花こう岩	m.か所	○	
内部仕上足場	1式		○	型枠	m2	○		平ボーター花こう岩	m	○	
災害防止	1式		○	型枠運搬	m2	○		段ボーター花こう岩	m	○	
仮設材運搬	1式		○	(内部仕上)				くつずり花こう岩	m	○	
土工				打放し面補修	m2	○		タイル			
すきとり	1式		○	型枠	m2	○		(外部)			
根切り	1式		○	型枠運搬	m2	○		床タイル張り	m2	○	
床付け	1式		○	鉄骨				床役物タイル張り	m	○	
杭間ざらい	本	○		(本体鉄骨)				階段床タイル張り	m2	○	
埋戻し	1式		○	切板鋼板	t	○		壁タイル張り	m2	○	
盛土	1式		○	形鋼	t	○		壁役物タイル張り	m	○	
構内敷きならし	1式		○	角形鋼管	t	○		タイル型枠先付け	m2	○	
山留め	1式		○	平鋼	t	○		型枠先付け役物タイル張り	m	○	
排水	1式		○	丸鋼	t	○		(内部)			
乗入れ構台	1式		○	鉄骨スクラップ控除	1式	-		床タイル張り	m2	○	
土工機械運搬	1式	-		工場加工組立	t	○		床役物タイル張り	m	○	
				工場錆止め塗装	m2.t	○		階段床タイル張り	m2	○	
				溶融亜鉛めっき	t	○		壁タイル張り	m2	○	
				鉄骨運搬	t	○		壁役物タイル張り	m	○	
地業				現場建方	t	○		木工			
(地業)				高力ボルト類	t	○		(部位別「材工共」)			
砂利地業	m3	○		高力ボルト類締付け	本	○		床組畳下地	m2	○	
捨コンクリート地業	m3	○		現場溶接	m	○		床組フローリング下地	m2	○	
床下防湿層敷き	m2	○		現場錆止め塗装	m2	○		床組	m2	○	
砂敷き	m2	○		(付帯鉄骨等)				上がりがまち	m	○	
地盤の載荷試験	1式	-		鉄骨階段	か所	○		土台	m	○	
(既製コンクリート杭地業)				カーテンウォール取付け1次ファスナー	か所	○		頭つなぎ	m	○	
既製コンクリート杭	本	○		スリーブ	か所	○		敷居受け材	m	○	
施工費	1式	-		アンカーボルト	本	○		間仕切軸組	m2	○	
杭頭処理	本	○		溶接部試験	か所	○		筋線組	m2	○	
杭頭補強	本	○		デッキプレート等	m2	○		化粧柱	本	○	
				デッキ受け金物	か所	○		化粧半柱	本	○	
				外周コンクリート止	m	○		敷居	m	○	
(場所打ちコンクリート杭地業)				軽量形鋼構造	m	○		かまい	m	○	
普通コンクリート	m3	○		柱底均しモルタル	か所	○		中がまい	m	○	
構造体強度補正	1式	-※		スタッドボルト	本	○		窓枠	m.か所	○	
異形鉄筋	t	○		仮設金物	1式	-		窓額縁	m	○	
鋼板	t	○		鉄骨足場	1式		○	畳寄せ	m	○	
鋼材類スクラップ控除	1式	-		(耐火被覆)	m2.m	○		幅木	m	○	
施工費	1式	-		既製コンクリート				付けがまい	m	○	
杭頭処理	m3	○		(外部)				廻り縁	m	○	
杭の載荷試験	本	○		ALCパネル	m2	○		押入れ	か所	○	
				押出成形セメント板	m2	○		窓敷居	m	○	
				押出成形セメント板役物	m	○		窓がまい	m	○	
鉄筋				既製コンクリート板	m2	○		出入り口枠	m.か所	○	
(躯体)				(内部)				集材材(柱など)	本	○	
異形鉄筋	t	○		コンクリートブロック	m2	○		(部材別)			
鉄筋スクラップ控除	1式	-		コンクリートブロック化粧目地加算額	m2	○		下地材	m3	○	
鉄筋加工組立	t	○		ALCパネル	m2	○		造作材	m3	○	
スパイラル筋	t	○		押出成形セメント板	m2	○		集材材	m3	○	
ガス圧接	か所	○		押出成形セメント板役物	m	○		板材	m3	○	
特殊な鉄筋継手	か所	○		開口部補強	か所	○		合板	m2	○	
帯筋溶接	か所	○		防水				施工費	1式	-	
鉄筋運搬	t	○		(外部)				防塵・防蟻・防虫処理	m2	○	
梁貫通孔補強	か所.t	○		アスファルト防水	m2	○		屋根及びとい			
溶接金網敷き	m2	○		合成高分子系ルーフィングシート防水	m2	○		(外部)			
地中梁主筋受台	1式	-※		塗膜防水	m2	○		長尺金属板葺き	m2	○	
(外部仕上)				ケイ酸質系塗布防水	m2	○		折板葺き	m2	○	
異形鉄筋	t	○		伸縮調整目地	m	○		金属屋根役物	m.か所	○	
溶接金網敷き	m2	○		成形緩衝材	m	○		ルーフトレン	か所	○	
(内部仕上)				防水入隅処理	m	○		とい	m	○	
異形鉄筋	t	○		シーリング	m	○		鋼管製とい防露巻き	m	○	
溶接金網敷き	m2	○		防水立上がり保護	m2.m	○		とい掃除口	か所	○	
コンクリート				防水層押え金物	m	○		とい受石	か所	○	
(躯体)				(内部)				とい	m	○	
普通コンクリート	m3	○		アスファルト防水	m2	○		鋼管製とい防露巻き	m	○	
コンクリート打設手間	1式	-		合成高分子系ルーフィングシート防水	m2	○		とい掃除口	か所	○	
ポンプ圧送	1式	-		塗膜防水	m2	○		(外部)			
打継ぎ処理	m	○		シーリング	m	○		マンホールふた	か所	○	
止水板	m	○		石				排水溝ふた	m	○	
構造体強度補正	1式	-		(外部)				笠木	m	○	
コンクリート足場	1式	○		床花こう岩張り	m2	○		笠木コーナー	か所	○	
(外部仕上)				階段花こう岩張り	m	○		天井金属成形板張り	m2	○	
無筋コンクリート	m3	○		壁花こう岩張り	m2	○		天井廻り縁	m	○	
(内部仕上)				壁花こう岩役物	m	○		軽量鉄骨天井下地	m2	○	
無筋コンクリート	m3	○		壁大理石	m	○		軽量鉄骨天井下地撤止め補強	m2	○	
型枠				壁花こう岩	m	○		軽量鉄骨天井下地開口部補強	か所	○	
(躯体)				(内部)				壁アルミルーバー	m2	○	
普通合板型枠	m2	○		床花こう岩張り	m2	○		吊り金物	か所	○	
打放し合板型枠	m2	○		床ボーター花こう岩	m	○		丸環	か所	○	
床型枠用鋼製デッキプレート	m2	○		幅木大理石	m	○					

数量公開項目一覧（建築工事（新営））

名称	単位	数量公開項目		名称	単位	数量公開項目		名称	単位	数量公開項目	
		数量書※1	別紙明細※2			数量書※1	別紙明細※2			数量書※1	別紙明細※2
懸垂幕受け金物	か所	○		(ガラス)				移動間仕切	か所	○	
ラス張り	m2	○		型板ガラス	m2	○		アコーディオン	か所	○	
タラップ[足かけ]	か所	○		網入型板ガラス	m2	○		カーテンボックス	m	○	
タラップ[梯子型]	m	○		フロート板ガラス	m2	○		カーテンレール	m	○	
手すり	m	○		網入磨き板ガラス	m2	○		ブラインドボックス	m	○	
旗竿受金物	か所	○		合わせガラス	m2	○		シャワーユニット	か所	○	
煙突天板	か所	○		複層ガラス	m2	○		造付け家具	か所	○	
煙突カバープレート	か所	○		強化ガラス	m2	○		カウンター	か所	○	
(内部)				熱線反射ガラス	m2	○		防煙垂壁	m	○	
マンホールふた	か所	○		熱線吸収板ガラス	m2	○		発生材処理			
床点検口	か所	○		強化ガラスドア	か所	○		(運搬)			
排水溝ふた	m	○		ガラス合せシーリング	m	○		建設発生土運搬	m3	○	
トラフふた	m	○		映像調整	m2	○		発生材積込み	m3.t	○	
くつずり	m	○		飛散防止フィルム張り	m2	○		発生材運搬	m3.t	○	
軽量鉄骨壁下地	m2	○		カーテンウォール				(処分)			
軽量鉄骨壁下地開口部補強	か所	○		(メタルカーテンウォール)				建設発生土処分	m3	○	
下地ラス張り	m2	○		建具付メタルカーテンウォール	か所	○		発生材処分	m3.t	○	
壁付手すり	m	○		メタルカーテンウォール	か所	○					
コーナービード	m	○		運搬、取付け	1式	-		閉障			
天井金属成形板張り	m2	○		(PCカーテンウォール)				直接仮設	1式	○	
天井廻り縁	m	○		PCカーテンウォール	か所	○		メッシュフェンス	m	○	
軽量鉄骨天井下地	m2	○		運搬、取付け	1式	-		鋼製フェンス	m	○	
軽量鉄骨下がり壁下地	m	○						植え込み土留め	m	○	
軽量鉄骨天井下地振止め補強	m2	○		塗装				車止め	か所	○	
軽量鉄骨天井下地開口部補強	か所	○		(外部)				扉	か所	○	
タラップ[足かけ]	か所	○		DP	m2	○		根切り	1式	○	
ジョイナー	m	○		SOP	m2	○		埋戻し	1式	○	
浴室天井水切とい	m	○		(内部)				建設発生土運搬	m3	○	
天井廻り縁	m	○		SOP	m2	○		建設発生土処分	m3	○	
下がり壁見切り縁	m	○		EP	m2.m	○		構内舗装			
天井点検口	か所	○		EP-G	m2	○		直接仮設	1式	○	
サッシ、壁取合い金物	m	○		NAD	m2	○		すき取り、積込み	1式	○	
便所手すり	か所	○		DP	m2	○		アスファルト舗装	m2	○	
左官				UC	m2	○		インターロッキングブロック舗装	m2	○	
(外部)								コンクリート舗装	m2	○	
床コンクリート直均し仕上げ	m2	○						路面表示用塗料	m.か所	○	
床モルタル塗り	m2	○		内外装				緑石	m	○	
立上りモルタル塗り	m2	○		(外部)				土工機械運搬	1式	-	
床防水モルタル塗り	m2	○		土間下断熱材敷き	m2	○		舗装機械運搬	1式	-	
排水溝モルタル塗り	m	○		天井繊維強化セメント板張り	m2	○		建設発生土運搬	m3	○	
階段モルタル塗り	m2	○		天井ロックウール化粧吸音板張り	m2	○		建設発生土処分	m3	○	
外壁モルタル塗り	m2	○		(内部)							
薄付け仕上塗材	m2	○		床ビニル床タイル張り	m2	○		屋外排水			
厚付け仕上塗材	m2	○		床ゴム床タイル張り	m2	○		排水管	m	○	
複層仕上塗材	m2	○		床ビニル床シート張り	m2	○		排水枘	か所	○	
筈木モルタル塗り	m	○		タイルカーペット張り	m2	○		L字側溝	m	○	
筈木こて仕上げ	m	○		カーペット敷き	m2	○		U字側溝	m	○	
水切りモルタル塗り	m	○		合成樹脂塗床	m2	○		根切り	1式	○	
建具周囲防水モルタル充填	m	○		床フローリング張り	m2	○		埋戻し	1式	○	
マスチック塗材塗り	m2	○		畳敷き	枚	○		建設発生土運搬	m3	○	
(内部)				ビニル幅木	m	○		建設発生土処分	m3	○	
床コンクリート直均し仕上げ	m2	○		壁せつこうボード張り	m2	○					
床モルタル塗り	m2	○		壁繊維強化セメント板張り	m2	○		植栽			
セルフペーキング材塗り	m2	○		壁紙張り	m2	○		低木	株	○	
階段下地モルタル塗り	m2	○		壁ガラスウール吸音板張り	m2	○		中低木	本	○	
階段モルタル塗り	m2	○		壁合成樹脂発泡材打込み	m2	○		高木	本	○	
階段モルタル塗り	m2	○		耐火間仕切壁	m2	○		芝張り	m2	○	
ビット防水モルタル塗り	m2	○		壁吹付け硬質ウレタンフォーム	m2	○		地被類	株.m2	○	
幅木モルタル塗り	m	○		天井せつこうボード張り	m2	○		植栽基盤整備	m2	○	
壁モルタル塗り	m2	○		天井化粧せつこうボード張り	m2	○		客土	m3	○	
薄付け仕上塗材	m2	○		天井不燃積層せつこうボード張り	m2	○		植込費	株.本	○	
厚付け仕上塗材	m2	○		天井ロックウール化粧吸音板張り	m2	○		支柱	本	○	
複層仕上塗材	m2	○		天井繊維強化セメント板張り	m2	○		ソリサークル	か所	○	
柱型モルタル塗り	m2	○		システム天井	m2	○		植栽機械運搬	1式	-	
梁型モルタル塗り	m2	○		天井吹付け硬質ウレタンフォーム	m2	○					
モルタル役物	m	○		スラブ下合成樹脂発泡材打込み	m2	○		屋上緑化			
建具周囲モルタル充填	m	○						屋上緑化システム	m2	○	
キャスト耐火物	m2	○						植込み用土	m3	○	
建具				エント及びその他				低木	株	○	
(アルミニウム製建具)								中低木	本	○	
AW	か所	○		煙突用成形ライニング材	m	○		芝張り	m2	○	
AG	か所	○		くつふきマット	か所	○		地被類	株.m2	○	
AD	か所	○		屋上金属製手すり	m	○		植込費	株.本	○	
運搬、取付け	1式	-		(内部)				支柱	本	○	
(鋼製建具)				フリーアクセスフロア	m2	○		屋上緑化軽量システム	m2	○	
SD	か所	○		案内板	か所	○					
SG	か所	○		室名札	か所	○		共通仮設			
運搬、取付け	1式	-		ピクトグラフ	か所	○		揚重機械器具	1式	-*	
(鋼製軽量建具)				階数表示板	か所	○		仮囲い	m	○	
LD	か所	○		非常錠表示板	か所	○		交通誘導警備員	人	○	
運搬、取付け	1式	-		誘導標識	か所	○		その他調査費、試験費	か所	○	
(ステンレス製建具)				屋内掲示板	か所	○		必要に応じ積上げるもの	○		
SSD	か所	○		黒板	か所	○					
SSW	か所	○		流し台	台	○		※図面特記されている項目は、数量公開とする。			
運搬、取付け	1式	-		コンロ台	台	○					
(木製建具)				吊戸棚	台	○					
WD	か所	○		水切棚	台	○					
両面ふすま	か所	○		トイレブース	m.か所	○					
紙障子	か所	○		洗面カウンター	か所	○					
(自動ドア開閉装置)				鏡	か所	○					
自動ドア開閉装置	か所	○		実験台	台	○					
(シャッター)				書架	か所	○					
SS	か所	○		鍵箱	か所	○					
LS	か所	○		階段滑り止め	m	○					
運搬、取付け	1式	-		カーテン	か所.m2	○					
(オーバーヘッドドア)				ブラインド	か所.m2	○					
OHD	か所	○		検査室等作業台	か所	○					
運搬、取付け	1式	-		木製棚	か所	○					
				可動間仕切	か所	○					

数量公開項目一覧（建築工事（改修））

※1 入札時積算数量書の数量公開項目
 ※2 入札時積算数量書別紙明細の数量公開項目

数量公開項目凡例

- 入札時積算数量書又は入札時積算数量書別紙明細での数量公開項目
- 入札時積算数量書で「1式」として数量公開し、入札時積算数量書別紙明細はつけない

名称	単位	数量公開項目		名称	単位	数量公開項目		名称	単位	数量公開項目	
		数量書※1	別紙明細※2			数量書※1	別紙明細※2			数量書※1	別紙明細※2
直接仮設				(改修 ステンレス製建具)				塗装改修			
墨出し	1式	○		SSD	か所	○		(改修 外部塗装)			
養生	1式	○		SSW	か所	○		SOP	m2.m	○	
整理清掃後片付け	1式	○		運搬、取付け	1式	-		(改修 内部塗装)			
外部足場	1式	○		(改修 木製建具)				SOP	m2.m	○	
内部足場	1式	○		WD	か所	○		EP	m2.m	○	
仮設間仕切り	1式	○		ふすま	か所	○		EP-G	m2.m	○	
災害防止	1式	○		紙張り障子	か所	○		FE	m2.m	○	
仮設材運搬	1式	○		(改修 自動ドア開閉装置)				DP	m2.m	○	
				自動ドア開閉装置	か所	○		UC	m2.m	○	
防水改修				(改修 シャッター)							
(撤去 外部防水)				SS	か所	○		耐震(躯体)改修			
防水保護コンクリート撤去	m3	○		LS	か所	○		(撤去)			
防水立上り部保護撤去	m2	○		運搬、取付け	1式	-		鉄筋コンクリート撤去	m3	○	
防水層撤去	m2	○		(改修 オーバーヘッドドア)				コンクリートブロック類撤去	m3	○	
シーリング撤去	m	○		OHD	か所	○		コンクリートカッター入れ	m	○	
手すり撤去	m	○		運搬、取付け	1式	-					
笠木撤去	m	○		(改修 ガラス)				(改修 鉄筋)			
ルーフトレン撤去	か所	○		型板ガラス	m2	○		異形鉄筋	t	○	
とい撤去	m	○		網入型板ガラス	m2	○		鉄筋スクラップ控除	1式	-	
(撤去 内部防水)				フロート板ガラス	m2	○		鉄筋加工組立	t	○	
防水保護コンクリート撤去	m3	○		網入磨き板ガラス	m2	○		スパイラル筋	t	○	
防水層撤去	m2	○		複層ガラス	m2	○		ガス圧接	か所	○	
				合わせガラス	m2	○		特殊な鉄筋継手	か所	○	
				熱線吸収板ガラス	m2	○		帯筋溶接	か所	○	
(改修 外部防水)				強化ガラス	m2	○		鉄筋運搬	t	○	
既存下地補修	m2	○		熱線反射ガラス	m2	○		溶接金網	m2	○	
アスファルト防水	m2	○		ガラス合わせシーリング	m	○		あと施工アンカー	本	○	
合成高分子系ルーフィングシート防水	m2	○		映像調整	m2	○		(改修 コンクリート)			
塗膜防水	m2	○		飛散防止フィルム張り	m2	○		普通コンクリート	m3	○	
成形緩衝材	m	○		(改修 その他)				コンクリート打設手間	1式	-	
伸縮調整目地	m	○		SOP	m2	○		構造体強度補正	1式	-	
防水入隅処理	m	○		建具周囲シーリング	m	○		ポンプ圧送	1式	-	
シーリング	m	○		建具周囲防水モルタル充填	m	○		グラウト材注入	m3	○	
防水立上り部保護	m2	○		建具周囲モルタル充填	m	○		壁既存打継目あらし	m2	○	
防水層押え金物	m	○		内装改修				吹付けモルタル工法	m2	○	
無筋コンクリート	m3	○		(撤去)				(改修 型枠)			
床コンクリート面直均し仕上げ	m2	○		床モルタル撤去	m2	○		普通合板型枠	m2	○	
溶接金網敷き	m2	○		床タイル撤去	m2	○		打放し合板型枠	m2	○	
ルーフトレン	か所	○		ビニル床タイル撤去	m2	○		型枠運搬	m2	○	
手すり	m	○		ビニル床シート撤去	m2	○		打放し面補修	m2	○	
笠木	m	○		タイルカーベット撤去	m2	○		グラウト材注入用型枠	m	○	
とい	m	○		カーベット撤去	m2	○		耐震スリット	m	○	
(改修 内部防水)				フリーアクセスフロア撤去	m2	○		(改修 鉄骨)			
既存下地補修	m2	○		ビニル幅木撤去	m	○		切板鋼板	t	○	
アスファルト防水	m2	○		壁ボード撤去	m2	○		形鋼	t	○	
合成高分子系ルーフィングシート防水	m2	○		軽量鉄骨壁下地撤去	m2	○		鉄骨スクラップ控除	1式	-	
塗膜防水	m2	○		壁紙撤去	m2	○		工場加工組立	t	○	
防水入隅処理	m	○		コンクリートブロック撤去	m3	○		工場錆止め塗装	m2.t	○	
シーリング	m	○		天井合板ボード撤去	m2	○		溶融亜鉛めっき	t	○	
無筋コンクリート	m3	○		軽量鉄骨天井下地撤去	m2	○		鉄骨運搬	t	○	
床コンクリート面直均し仕上げ	m2	○		可動間仕切り撤去	m2	○		現場建方	t	○	
外壁改修				トイレブース撤去	m	○		高力ボルト類	t.本	○	
(撤去)				天井点検口撤去	か所	○		高力ボルト類締付	本	○	
壁タイル撤去	m2	○		ブラインドボックス撤去	m	○		溶接部試験	か所	○	
壁モルタル撤去	m2	○		(改修 床)				耐火被覆	m2	○	
役物モルタル撤去	m	○		床下地補修	m2	○		(改修 その他)			
既存塗膜等の除去	m2	○		床見切縁	m	○		コンクリート切断	m	○	
カッター入れ	m	○		床ビニル床タイル張り	m2	○		シーリング	m	○	
シーリング撤去	m	○		床ビニル床シート張り	m2	○		撤去部補修	m	○	
(改修)				タイルカーベット張り	m2	○					
施工数量調査	m2	○		カーベット敷き	m2	○		環境配慮改修			
外壁清掃	m2	○		合成樹脂塗床	m2	○		(撤去)			
ひび割れ部改修	m	○		床フローリング張り	m2	○		アスベスト除去	1式	○	
欠損部改修	か所	○		畳敷き	枚	○		アスベスト含有成形板除去	m2	○	
浮き部改修	か所	○		床タイル張り	m2	○		(改修 屋上緑化)			
下地調整	m2	○		床モルタル塗り	m2	○		屋上緑化システム	m2	○	
仕上塗材塗り	m2	○		(改修 幅木・壁)				補込み用土	m3	○	
壁タイル張り	m2	○		ビニル幅木	m	○		低木	株	○	
壁モルタル塗り	m2	○		壁下地補修	m2	○		中低木	本	○	
役物モルタル塗り	m	○		壁タイル張り	m2	○		芝張り	m2	○	
シーリング	m	○		壁モルタル塗り	m2	○		地被類	株.m2	○	
建具改修				軽量鉄骨壁下地	m2	○		補込費	株.本	○	
(撤去)				軽量鉄骨壁下地開口部補強	か所	○		支柱	本	○	
アルミニウム製建具撤去	か所	○		壁せつこうボード張り	m2	○		屋上緑化軽量システム	m2	○	
鋼製建具撤去	か所	○		壁紙張り	m2	○		発生材処理			
鋼製軽量建具撤去	か所	○		(改修 天井)				(運搬)			
ステンレス製建具撤去	か所	○		天井せつこうボード張り	m2	○		発生材積込	m3.t	○	
木製建具撤去	か所	○		天井不燃燃層せつこうボード張り	m2	○		発生材運搬	m3.t	○	
シャッター撤去	か所	○		天井防カウラル化脱音板張り	m2	○		(処分)			
カッター入れ	m	○		天井繊維強化セメント板張り	m2	○		発生材処分	m3.t	○	
シーリング撤去	m	○		軽量鉄骨天井下地	m2	○					
ガラス撤去	m2	○		軽量鉄骨下がり壁下地	m	○		共通仮設			
(改修 アルミニウム製建具)				軽量鉄骨天井振止め補強	m2	○		揚重機械器具	1式	-	
AW	か所	○		軽量鉄骨天井下地開口部補強	か所	○		仮囲い	m	○	
AG	か所	○		天井廻り縁	m	○		交通誘導警備員	人	○	
AD	か所	○		下がり壁見切り縁	m	○		その他調査費、試験費	か所	○	
運搬、取付け	1式	-		(改修 その他)				アスベスト粉塵濃度測定	点	○	
(改修 鋼製建具)				フリーアクセスフロア	m2	○		必要に応じて積上げるもの	○		
SD	か所	○		トイレブース	m	○					
SG	か所	○		洗面カウンター	か所	○					
運搬、取付け	1式	-		室名札	か所	○					
(改修 鋼製軽量建具)				ブラインド	か所	○					
LD	か所	○		ブラインドボックス	か所	○					
運搬、取付け	1式	-		鏡	か所	○					

※図面特記されている項目は、数量公開とする。

(別添-4)

数量公開項目一覧(電気設備工事)

※1 入札時積算数量書の数量公開項目
 ※2 入札時積算数量書別紙明細の数量公開項目

数量公開項目凡例

- 入札時積算数量書又は入札時積算数量書別紙明細での数量公開項目
- 入札時積算数量書で「1式」として数量公開し、入札時積算数量書別紙明細はつけない

名称	単位	数量公開項目		名称	単位	数量公開項目		名称	単位	数量公開項目	
		数量書※1	別紙明細※2			数量書※1	別紙明細※2			数量書※1	別紙明細※2
共通工事											
電線	1式		○	電熱設備				構内情報通信設備			
ケーブル	1式		○	制御盤	面	○		機器収納架	台	○	
バスダクト	m.か所	○		開閉器箱	個	○		幹線用スイッチ	台	○	
ライティングダクト	1式		○	温度センサ	個	○		ルータ	台	○	
電線管	1式		○	降雪センサ	個	○		メディアコンバータ	台	○	
金属線ひ	1式		○	水分センサ	個	○		ファイヤーウォール	台	○	
金属ダクト・トラフ	1式		○	発熱線等	1式	-		支線用スイッチ	台	○	
ケーブルラック	1式		○	機器間ケーブル工事	1式	-		フロア用スイッチ	台	○	
ワイヤプロテクタ	1式		○					無線アクセスポイント	台	○	
ボックス類	1式		○	雷保護設備				光成端箱	個	○	
支持材	1式	-		突針	基	○		ネットワーク管理装置	台	○	
防火区画貫通処理等	1式		○	試験用接地端子箱	個	○		電源装置	台	○	
接地工事	1式		○	受電部(導線)	1式		○	ソフトウェア	1式	-	
塗装工事	1式		○	引下げ導線	1式		○	情報用アウトレット	1式		○
基礎	1式	-		接続金物	1式		○	二重床用情報用アウトレット	1式		○
土工	1式		○	保護管	1式		○				
受変電設備											
搬入費	1式	-		高圧引込盤	面	○		構内交換設備			
搬出費	1式	-		高圧受電盤	面	○		交換装置	台	○	
施工費	1式	-		高圧き電盤	面	○		局線中継台	台	○	
据付費	1式	-		コンデンサ盤	面	○		本記録盤	面	○	
試験調整費	1式	-		低圧配電盤	面	○		電源装置	台	○	
諸経費	1式	-		絶縁監視装置	面	○		局線表示盤	面	○	
立金検査	1式	-		変圧器	面	○		料金課金装置	台	○	
運搬費	1式	-		高圧進相コンデンサ	台	○		一般電話機	台	○	
直接仮設	1式		○	直列リアクトル	台	○		多機能電話機	台	○	
はつり工事	1式	-		接地端子箱	個	○		デジタルコードレス電話機	台	○	
取外し再取付け	1式		○					端子盤	面	○	
撤去	1式		○	電力貯蔵設備				接地端子箱	面	○	
発生材積込	m ³ t	○		直流電源				端子接続	1式	-	
発生材運搬	m ³ t	○		整流装置	台	○		電話用アウトレット	1式		○
発生材処分	m ³ t	○		蓄電池収納盤	面	○		二重床用電話用アウトレット	1式		○
仮設備	1式		○	蓄電池	1式		○				
				交流無停電電源							
				UPS装置	台	○		情報表示設備			
				入出力分岐盤	面	○		マルチサイン			
				バイパス盤	面	○		情報表示盤	面	○	
				蓄電池収納盤	面	○		操作制御装置	台	○	
				蓄電池	1式		○	端子盤	面	○	
								端子接続	1式	-	
								配線器具	1式		○
電灯設備				電力平準化用蓄電							
電灯幹線				電力平準化用蓄電装置	台	○					
引込み計器箱	面	○		蓄電池収納盤	面	○					
				蓄電池	1式		○				
								出退表示			
電灯分岐				発電設備				出退表示盤	面	○	
LED照明器具	個	○		自家発電(原動機)				制御装置	台	○	
蛍光灯	個	○		発電装置	台	○		発信器	個	○	
HID灯	個	○		発電機盤	面	○		端子盤	面	○	
非常用照明	個	○		補機盤	面	○		端子接続	1式	-	
誘導灯	個	○		始動装置	面	○		配線器具	1式		○
分電盤	面	○		主燃料槽	基	○					
開閉器箱	面	○		燃料小出槽	基	○					
照明制御盤	面	○		乾燥砂	m	○					
照明制御装置(センサ)	個	○		給油ボックス	台	○		時刻表示			
配線器具	1式		○	消音器	台	○		親時計	台	○	
設備プレート	1式		○	燃料ポンプ	台	○		アナログ子時計	個	○	
				給気ダクト工事	1式	-		デジタル子時計	個	○	
				換気ダクト工事	1式	-		電波受信アンテナ	個	○	
				排気ダクト工事	1式	-		端子盤	面	○	
				燃料配管工事	1式	-		端子接続	1式	-	
				排気配管工事	1式	-		配線器具	1式		○
				機器間ケーブル工事	1式	-					
				チェーンブロック	1式	-					
				燃料電池発電				映像・音響設備			
動力設備				燃料電池発電装置	台	○		AV機器収納架	台	○	
動力幹線								AV操作卓	台	○	
引込み計器箱	面	○		太陽光発電				プロジェクタ	台	○	
				太陽電池	1式	-		スクリーン	台	○	
				架台	1式	-		電動昇降装置	台	○	
				パワーコンディショナ	台	○		書画カメラ	台	○	
				表示装置	台	○		カラーモニタ	台	○	
				データ収集装置	台	○		配線接続盤	面	○	
				接続箱	1式	-		マイクロホン	個	○	
				交換器箱	1式	-		集合形スピーカ	個	○	
				計測機器	1式	-	○	天井形スピーカ	個	○	
				機器間ケーブル工事	1式	-		ワイヤレスアンテナ	個	○	
								カットリレー盤	面	○	
				風力発電				端子盤	面	○	
電気自動車用充電設備				風力発電装置	基	○		配線器具	1式		○
電気自動車用充電装置	面	○		制御装置	台	○		端子接続	1式	-	
配線器具	1式		○	支持構造物	基	○		機器間ケーブル工事	1式	-	

(別添-5)

数量公開項目一覧（機械設備工事）

※1 入札時積算数量書の数量公開項目
 ※2 入札時積算数量書別紙明細の数量公開項目

数量公開項目凡例

- 入札時積算数量書又は入札時積算数量書別紙明細での数量公開項目
- 入札時積算数量書で「1式」として数量公開し、入札時積算数量書別紙明細はつけない

名 称	単位	数量公開項目		名 称	単位	数量公開項目		名 称	単位	数量公開項目	
		数量書※1	別紙明細※2			数量書※1	別紙明細※2			数量書※1	別紙明細※2
<庁舎>				架台類	1式	-		手洗器	組	○	
空調和設備-機器設備				形鋼振れ止め支持	1式	-		掃除流し	組	○	
(熱源機器)	基	○		防火区画貫通処理	1式	-		鏡	枚	○	
(ポンプ類)	台	○		スリーブ	1式	-		化粧箱	個	○	
(タンク類)	基	○		デッキプレート開口切断	1式	-		水石けん入れ	個	○	
オイルタンク	基	○		あと施工アンカー	1式	-		大便器ユニット	組	○	
オイルタンク付属品	1式	-		配管分岐・閉塞	1式	-		小便器ユニット	組	○	
(ヘッドー類)	基	○		はつり補修	1式	-		洗面器ユニット	組	○	
ユニット形空調和機	台	○						壁掛形汚物流しユニット	組	○	
ファンコイルユニット	台	○		空調和設備-総合調整				浴室ユニット	組	○	
パッケージ形空調和機	台	○		総合調整費	1式	-					
マルチパッケージ形空調和機	台	○						給水設備			
マルチパッケージ形空調和機付属品	1式	-		換気設備-機器設備				受水タンク	基	○	
パネル形エアフィルター	台	○		遠心送風機	台	○		高置タンク	基	○	
パネル形エアフィルター予備品	1式	-		消音ボックス付送風機	台	○		揚水ポンプ	台	○	
電気集じん器	台	○		全熱交換ユニット	台	○		給水管	m	○	
煙道	1式	-		全熱交換ユニット予備品	1式	-		仕切弁	個	○	
ばい煙濃度計	組	○		圧力扇	台	○		パタフライ弁	個	○	
油面制御装置	組	○		パネル形エアフィルター	台	○		逆止弁	個	○	
遠隔油面指示計	組	○		自動巻取りエアフィルター	台	○		水栓	個	○	
電気配管配線	1式	-		電気集じん器	台	○		定水位調整弁	組	○	
保温	1式	○		煙道	1式	-		ホールタップ	組	○	
塗装	1式	○		はい煙濃度計	組	○		ホールドアップ	組	○	
文字標識等	1式	-		油面制御装置	組	○		電極棒	組	○	
搬入・据付費	1式	-		遠隔油面指示計	組	○		量水器	個	○	
機器用基礎	1式	-		電気配管配線	1式	-		弁装置	組	○	
架台類	1式	-		保温	1式	○		フレキシブルジョイント	個	○	
取外し再取付	1式	-		塗装	1式	○		防振継手	個	○	
機器固定用アンカー	1式	-		文字標識等	1式	-		保温	1式	○	
直接仮設	1式	○		搬入・据付費	1式	-		塗装	1式	○	
				機器用基礎	1式	-		搬入・据付費	1式	-	
				架台類	1式	-		機器用基礎	1式	-	
空調和設備-ダクト設備				取外し再取付	1式	-		架台類	1式	-	
長方形ダクト	m ²	○		機器固定用アンカー	1式	-		形鋼振れ止め支持	1式	-	
スパイラルダクト	m ²	○		直接仮設	1式	○		スリーブ	1式	-	
鋼板製ダクト	m ²	○						デッキプレート開口切断	1式	-	
シーリングディフューザー	個	○		空調和設備-ダクト設備				あと施工アンカー	1式	-	
縦状吹出口	個	○		長方形ダクト	m ²	○					
吸込口	個	○		スパイラルダクト	m ²	○					
定風量ユニット	台	○		鋼板製ダクト	m ²	○					
変風量ユニット	台	○		シーリングディフューザー	個	○					
風量調節ダンパー	個	○		縦状吹出口	個	○					
防火ダンパー	個	○		吸込口	個	○					
防火防煙ダンパー	個	○		定風量ユニット	台	○					
ピストンダンパー	個	○		変風量ユニット	台	○					
逆流防止ダンパー	個	○		風量調節ダンパー	個	○					
ペントキャップ	個	○		防火ダンパー	個	○					
温度計	個	○		防火防煙ダンパー	個	○					
風量測定口	個	○		ピストンダンパー	個	○					
たわみ継手	1式	-		逆流防止ダンパー	個	○					
消音エルボ	1式	-		ペントキャップ	個	○					
チャンパー類	1式	-	○	温度計	個	○					
制気口ボックス類	1式	-	○	風量測定口	個	○					
保温	1式	-	○	たわみ継手	1式	-					
塗装	1式	-	○	チャンパー類	1式	-					
防火区画貫通処理	1式	-		制気口ボックス類	1式	-					
スリーブ	1式	-		保温	1式	○					
あと施工アンカー	1式	-		塗装	1式	○					
ダクト分岐・閉塞	1式	-		防火区画貫通処理	1式	-					
清掃・洗浄等	1式	-		スリーブ	1式	-					
				あと施工アンカー	1式	-					
空調和設備-配管設備											
冷温水管	m	○		換気設備-総合調整							
冷却水管	m	○		総合調整費	1式	-					
蒸気管	m	○									
油管	m	○		排煙設備-機器設備							
補給水管	m	○		排煙機	台	○					
ドレン管	m	○		搬入・据付費	1式	-					
仕切弁	個	○		機器用基礎	1式	-					
パタフライ弁	個	○									
逆止弁	個	○		排煙設備-ダクト設備							
Y形ストレーナー	個	○		長方形ダクト	m ²	○					
トラップ装置	組	○		円形ダクト	m ²	○					
弁装置	組	○		鋼板製ダクト	m ²	○					
伸縮管継手	個	○		排煙口	個	○					
防振継手	個	○		給気口	個	○					
温度計	個	○		防火ダンパー	個	○					
圧力計	組	○		チャンパー類	1式	-					
瞬間流量計	個	○		保温	1式	○					
空調用トラップ	個	○		塗装	1式	○					
間接排水口	個	○		防火区画貫通処理	1式	-					
冷媒管	1式	-	○	スリーブ	1式	-					
合成樹脂製支持受	1式	-	○	あと施工アンカー	1式	-					
保温	1式	-	○								
塗装	1式	-	○	排煙設備-総合調整							
				総合調整費	1式	-					
				自動制御設備							
				自動制御機器	1式	-					
				中央監視制御装置	1式	-					
				自動制御盤	1式	-					
				計装工事	1式	-					
				エンジニアリング費	1式	-					
				調整費	1式	-					
				諸経費	1式	-					
				衛生器具設備							
				大便器	組	○					
				小便器	組	○					
				洗面器	組	○					

数量公開項目一覧（機械設備工事）

数量公開項目一覧（昇降機設備工事）

名称	単位 ※1	数量公開項目		名称	単位 ※1	数量公開項目		名称	単位	数量公開項目	
		数量書※1	別紙明細※2			数量書※1	別紙明細※2			数量書※1	別紙明細※2
搬入・据付費	1式	—		感震遮断弁	組	○		<庁舎>			
機器用基礎	1式	—		ガス漏れ警報器	組	○		エレベーター設備-1号機			
梁台類	1式	—		圧力計	個	○		主要機器、かご	1式	—	
形鋼振れ止め支持	1式	—		標識板	1式	—		その他部材	1式	—	
スリーブ	1式	—		スリーブ	1式	—		共通部材	1式	—	
デッキプレート開口切断	1式	—		デッキプレート開口切断	1式	—		三方枠	か所	○	
あと施工アンカー	1式	—		塗装	1式	—	○	扉板	か所	○	
				あと施工アンカー	1式	—		乗場の敷居	か所	○	
消火設備-屋内消火栓設備								乗場の戸	か所	○	
消火ポンプユニット	台	○		厨房機器設備				乗場ボタン	か所	○	
消火用赤水タンク	基	○		流し	台	○		インジケータ	か所	○	
屋内消火栓箱	組	○		作業台	台	○		電気配管配線	1式	—	
消火管	m	○		戸棚	台	○		消耗品雑材料	1式	—	
仕切弁	個	○		棚	台	○		労務費	1式	—	
逆止弁	個	○		電気レンジ	台	○		運搬費	1式	—	
テスト弁	個	○		ガステーブルレンジ	台	○		諸経費	1式	—	
フレキシブルジョイント	個	○		電気テーブルレンジ	台	○		直接仮設	1式	—	○
ホールタップ	個	○		揚げ物器(フライヤ)	台	○					
電線棒	組	○		炊飯器	台	○		エレベーター設備-エレベーター監視盤			
塗装	1式	—	○	焼物器	台	○		エレベーター監視盤	面	○	
搬入・据付費	1式	—		煮炊釜	台	○		電気配管配線	1式	—	
機器用基礎	1式	—		食器洗浄機	台	○		消耗品雑材料	1式	—	
梁台類	1式	—		冷蔵庫及び冷凍庫	台	○		労務費	1式	—	
形鋼振れ止め支持	1式	—		搬入・据付費	1式	—		運搬費	1式	—	
スリーブ	1式	—		試験調整費	1式	—		諸経費	1式	—	
デッキプレート開口切断	1式	—									
あと施工アンカー	1式	—		雨水利用設備				小荷物専用昇降機設備			
				機器・材料費	1式	—		主要機器、かご	1式	—	
消火設備-連結送水管				労務費	1式	—		その他部材	1式	—	
放水用器具格納箱	組	○		運搬費	1式	—		三方枠	か所	○	
放水口格納箱	組	○		試験調整費	1式	—		敷板または膳板	台	○	
送水口	個	○		諸経費	1式	—		敷居	台	○	
放水口	個	○						出し入れ戸	台	○	
送水管	m	○		撤去工事				操作盤	台	○	
仕切弁	個	○		機器類撤去	1式	—		電気配管配線	1式	—	
逆止弁	個	○		配管類撤去	1式	—	○	消耗品雑材料	1式	—	
フレキシブルジョイント	個	○		ダクト類撤去	1式	—	○	労務費	1式	—	
点検柵	組	○		はつり補修	1式	—		運搬費	1式	—	
表示板	1式	—						諸経費	1式	—	
塗装	1式	—	○	発生材処理							
梁台類	1式	—		発生材精込	m ³ t	○		エスカレーター設備			
形鋼振れ止め支持	1式	—		発生材運搬	m ³ t	○		トラス	台	○	
スリーブ	1式	—		発生材処分	m ³ t	○		駆動装置	台	○	
デッキプレート開口切断	1式	—						受電・制御盤	台	○	
あと施工アンカー	1式	—		<屋外>				階段レール	台	○	
				給水設備				階段	台	○	
消火設備-連結散水設備				給水管	m	○		階段チェーン	台	○	
送水口	個	○		弁類	個	○		内側板	台	○	
散水ヘッド	個	○		量水器	個	○		デッキガード	台	○	
消火管	m	○		樹類	組	○		スカートガード	台	○	
仕切弁	個	○		地中埋設槽	個	○		ハンドレール	台	○	
逆止弁	個	○		埋設表示用テープ	m	○		手摺駆動装置	台	○	
選択弁	個	○		土工事	1式	—	○	くし	台	○	
表示板	1式	—		水道本管引込工事	1式	—		床板及びくし板	台	○	
塗装	1式	—	○					照明器具	台	○	
梁台類	1式	—		排水設備				操作盤	台	○	
形鋼振れ止め支持	1式	—		排水管	m	○		安全装置	台	○	
スリーブ	1式	—		樹類	組	○		電気配管配線	1式	—	
デッキプレート開口切断	1式	—		土工事	1式	—	○	消耗品雑材料	1式	—	
あと施工アンカー	1式	—		下水道本管接続費	1式	—		労務費	1式	—	
								運搬費	1式	—	
消火設備-スプリンクラー設備				ガス設備-都市ガス設備				諸経費	1式	—	
消火機器	1式	—		都市ガス設備	1式	—					
材料費	1式	—		諸経費	1式	—		撤去工事			
労務費	1式	—						1号機撤去費	1式	—	
運搬費	1式	—		地中埋設槽	個	○		諸経費	1式	—	
試験調整費	1式	—		埋設表示用テープ	m	○					
システム評価申請手数料	1式	—		土工事	1式	—	○	発生材処理			
諸経費	1式	—						発生材精込	m ³ t	○	
				ガス設備-液化石油ガス設備				発生材運搬	m ³ t	○	
消火設備-不活性ガス消火設備				液化石油ガス管	m	○		発生材処分	m ³ t	○	
消火機器	1式	—		ガス栓・バルブ	個	○					
材料費	1式	—		地中埋設槽	個	○					
労務費	1式	—		埋設表示用テープ	m	○					
運搬費	1式	—		塗装	1式	—	○				
試験調整費	1式	—		土工事	1式	—	○				
システム評価申請手数料	1式	—									
諸経費	1式	—		浄化槽設備							
				浄化槽	基	○					
消火設備-泡消火設備				土工事	1式	—					
消火機器	1式	—		山留工事	1式	—					
材料費	1式	—		コンクリート基礎	1式	—					
労務費	1式	—		配管工事	1式	—					
運搬費	1式	—		電気工事	1式	—					
試験調整費	1式	—		搬入・据付費	1式	—					
諸経費	1式	—		試験調整費	1式	—					
				諸経費	1式	—					
ガス設備-都市ガス設備											
都市ガス設備	1式	—		撤去工事							
諸経費	1式	—		配管類撤去	1式	—	○				
スリーブ	1式	—									
デッキプレート開口切断	1式	—		発生材処理							
				発生材精込	m ³ t	○					
ガス設備 液化石油ガス設備				発生材運搬	m ³ t	○					
液化石油ガス管	m	○		発生材処分	m ³ t	○					
ガス栓・バルブ	個	○									
集合装置	組	○									
感震センサー	組	○									

※共通費の積み上げについては数量の明示されているもののみ公開とする。

入札時積算数量書説明書

1. 入札時積算数量書について

入札時積算数量書とは、発注者が入札時において積算数量として、公共建築工事内訳書標準書式に基づき作成した種目別内訳、科目別内訳、中科目別内訳及び細目別内訳の名称、数量及び単位を取りまとめて示す書面をいう。

入札時積算数量書は、入札説明書等の添付資料として、交付し公開するものである。

2. 提供する電子データについて

提供する電子データは次のとおりとする。

- ① 「入札時積算数量書」Microsoft Excel形式
- ② 「入札時積算数量書」CSV形式

3. 入札時積算数量書の細目別内訳について

(1) 構成

構成及び項目は、次の基準に基づき作成している。

- ① 建築工事 「公共建築工事内訳書標準書式（建築工事編）」
- ② 設備工事 「公共建築工事内訳書標準書式（設備工事編）」

(2) 適用基準

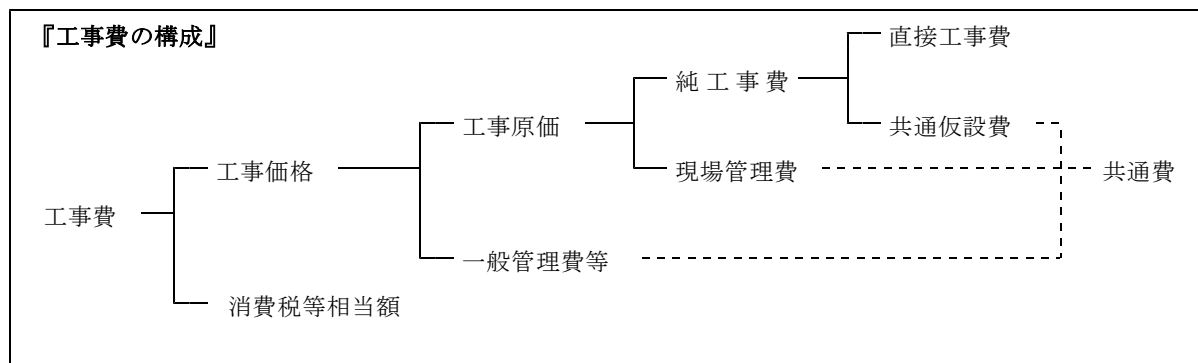
数量は、次の基準に基づき算出している。

- ① 建築工事 「公共建築数量積算基準」
- ② 設備工事 「公共建築設備数量積算基準」

(3) 共通費細目別内訳

当該工事の内容により必要に応じて、「入札時積算数量書」の種目別内訳に記載された共通仮設費、現場管理費及び一般管理費等の備考欄に「※共通仮設費細目別内訳 参照」、「※現場管理費細目別内訳 参照」及び「※一般管理費等細目別内訳 参照」と記載し、入札時積算数量書の一部として各細目別内訳を交付し公開するものであるが、その詳細は以下のとおりである。

- ① 国土交通省官庁営繕における共通費積算は、「公共建築工事積算基準」に定められた工事費構成により、共通仮設費、現場管理費及び一般管理費等に区分して、各費用を算定している。



- ②共通費（共通仮設費、現場管理費及び一般管理費等）については、「公共建築工事共通費積算基準」（以下「共通費基準」という。）に基づき各費用を算定している。共通費基準においては、共通費の各費用の算定にあたり、必要となる費用を積み上げにより算定するか、共通仮設費率、現場管理費率及び一般管理費等率により算定することとされている。一般的には共通費基準に定められた共通費の率により各々の費用を算定しているが、率に含まれない内容については、必要に応じ積み上げにより算定し加算することになる。例えば共通仮設費率においては、共同的に使用する揚重機械器具に要する費用が含まれないため、当該費用を積み上げにより算定し、共通仮設費率により算定した費用に加算する必要がある。
- ③建設技能労働者や交通誘導警備員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、これらを直接工事費、共通仮設費及び現場管理費の一部として計上している。

『共通費の算定』（算定の内容）

共通仮設費＝直接工事費に対する比率（共通仮設費率）により算定する費用
 ＋共通仮設費率に含まれない内容について、必要に応じ積上げ算定した費用

現場管理費＝純工事費に対する比率（現場管理費率）により算定する費用
 ＋現場管理費率に含まれない内容について、必要に応じ積上げ算定した費用

一般管理費等＝工事原価に対する比率（一般管理費等率）により算定する費用
 ＋一般管理費等率に含まれない内容について、必要に応じ積上げ算定した費用

- ④「共通仮設費細目別内訳」、「現場管理費細目別内訳」及び「一般管理費等細目別内訳」については、上記『共通費の算定』における「共通仮設費率、現場管理費率又は一般管理費等率に含まれない内容について、必要に応じ積上げ算定した費用」の根拠となる項目数量を記載した細目別内訳である。

参照 「公共建築工事標準単価積算基準（平成〇年版）」

http://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun_touitukijyun_s_hyoujyun_bugakari.htm

「公共建築工事共通費積算基準（平成〇年版）」

http://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun_touitukijyun_kyoutuui_sekisan.htm

「公共建築工事積算基準等資料（平成〇年版）」:

http://www.mlit.go.jp/gobuild/shiryuu_sekisan_unnyou.htm

「公共建築工事の工事費積算における共通費の算定方法及び算定例」:

http://www.mlit.go.jp/gobuild/kyoutuui_santeihouhou.html

入札時積算数量書別紙明細説明書

1. 入札時積算数量書別紙明細について

「入札時積算数量書別紙明細」とは、入札時積算数量書の細目別内訳において数量を一式としている細目のうち、必要に応じて別途作成される当該細目の根拠となる名称、数量及び単位を取りまとめて示す書面（以下「別紙明細」という。）をいう。また、入札時積算数量書において、数量を一式としている共通仮設費、現場管理費及び一般管理費等について、必要に応じて別途作成される各費用の根拠となる名称、数量及び単位を取りまとめて示す共通仮設費明細書、現場管理費明細書及び一般管理費等明細書を含むものとする。

別紙明細は、参考資料として、交付し公開するものである。

2. 提供する電子データについて

公開にあたり提供する電子データは次のとおりとする。

- ① 「入札時積算数量書別紙明細」 Microsoft Excel形式
- ② 「入札時積算数量書別紙明細」 CSV形式

3. 別紙明細について

(1) 構成

構成及び項目は、次の基準に基づき作成している。

- ① 建築工事 「公共建築工事内訳書標準書式（建築工事編）」
- ② 設備工事 「公共建築工事内訳書標準書式（設備工事編）」

(2) 適用基準

数量については、次の基準に基づき算出している。

- ① 建築工事 「公共建築数量積算基準」
- ② 設備工事 「公共建築設備数量積算基準」

参照 「公共建築工事標準単価積算基準（平成〇年版）」

http://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun_touitukijyun_s_hyoujyun_bugakari.htm

「公共建築工事共通費積算基準（平成〇年版）」

http://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun_touitukijyun_kyoutuuhi_sekisan.htm

「公共建築工事積算基準等資料（平成〇年版）」:

http://www.mlit.go.jp/gobuild/shiryuu_sekisan_unnyou.htm

「公共建築工事の工事費積算における共通費の算定方法及び算定例」:

http://www.mlit.go.jp/gobuild/kyoutuuhi_santeihouhou.html

4. 別紙明細に対する質問について

- (1) 別紙明細に対する質問がある場合においては、入札説明書の「○. 入札説明書（入札時積算数量書を含む。）に対する質問」に従い質問書を提出すること。ただし、入札説明書等に対する質問項目とは区別した項目とすること。

なお、数量そのものの差違等に係わる質問については、差違の根拠となる数量を算出した過程を示す数量算出書等の根拠資料等も併せて提出するものとする。

- (2) (1) の質問に対する回答は、入札説明書の「○. 入札説明書（入札時積算数量書を含む。）に対する質問」に従い閲覧に供する。